

4

WA Woody age

木材の研究と普及

監修 北海道立林産試験場

ウ
ッ
デ
イ
エ
イ
ジ



1997

JUL

「木一人」の関係の
科学が求められる時代

7

NO.46
527

WA 木材の研究と普及
ウッディ エイジ

木材の研究と普及

第46巻・通巻 527号

目 次

「木一人」の関係の
科学が求められる時代 1A

木材を活用した河川用環境資材の開発 1

道有林に架けられた二つのカラマツ歩道橋 5

隨 筆

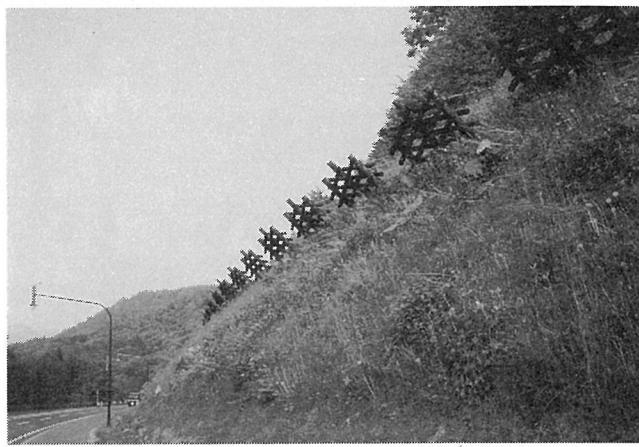
シイタケの原木栽培進化論 11

—ハウス利用、菌床の原木栽培、そして——

行政の窓 15

[最近の木材・木製品輸入の動向について]

林産試ニュース 16



美瑛町 忠別ダム工事現場近辺 雪崩防止柵

前号で擬木の雪崩防止柵を表紙の題材として取り上げましたが、その解説の中で本物の木材で雪崩防止柵を作ることは、強度上無理があるようだという見解を紹介しました。しかし、今回木材で製作された雪崩防止柵を見つけることができたので紹介します。

木製雪崩防止柵は、一見して擬木とは違う本物の風合いを感じさせ、景観にしっかりとなんじんで建っていました。形状的には前号の樹木型より地味ですが、地形に合わせて小型の並行型と大型の交差型の2種類の形状が使用されています。表紙の写真では平原に建っているように見えますが、実際には約45度の急斜面に設置されています。

今まで、強度・耐久性の問題から土木資材はコンクリート製のものが多く使用されてきました。今後は、この製品のように素材のハンデを克服して、従来は無理だと思われていた分野へも木製品を普及させていきたいものです。